

「岡山県血液製剤使用適正化普及委員会」 活動状況

平成27年3月17日
岡山県血液製剤使用適正化普及委員会 会長
上田 恭典

事業目的

- **背景**
 - ▶ 我が国の医療に使用されている血液製剤のうち、全血製剤及び血漿製剤は全て献血で確保されているが、血漿分画製剤は外国からの輸血に依存している
 - ▶ 本邦の血液製剤の使用量が諸外国に比べて多い
 - ▶ 感染症発症の危険性を完全には排除できない
 - ▶ 血液製剤を適正に使用する必要がある
- **設置**
 - ▶ 国の使用適正化政策に従い平成4年に設置された
 - ▶ 医療関係者、学識経験者、血液事業者、行政関係者で構成している

実施事業の概要

- **血液製剤使用適正化ガイドライン説明会**
 - ▶ 全体説明会、個別説明会、地域説明会
- **マニュアル等の作成**
 - ▶ 岡山県における輸血療法マニュアル
 - ▶ 適正使用普及ポスターの作成
- **実態調査**
 - ▶ 輸血検査の実態調査
 - ▶ 血液製剤保管管理実態調査
 - ▶ 赤血球製剤、血小板製剤、新鮮凍結血漿、アルブミン製剤の使用実態調査
 - ▶ 自己血輸血アンケート調査
 - ▶ 抗赤血球抗体保有患者に対する輸血の追跡調査

平成26年度 実施事業

- **合同輸血療法委員会の開催**
 - ▶ 平成17年度から開催
 - ▶ 出席者22施設、39名
 - ▶ 血液の使用状況、緊急輸血等アンケート調査計画
- **血液の使用状況・緊急輸血に関するアンケートの実施**
- **第25回岡山県輸血研究会の共催**

岡山県内における 血液製剤の使用実態調査アンケート

【目的】

岡山県合同輸血療法委員会では、岡山県医師会等の関係団体及び行政の協力を得て、各医療機関の血液製剤の使用状況、輸血業務の現状等を踏まえ、適正使用の推進に係る検討を進めるためにアンケート調査を実施している。

【方法】

〈対象施設〉
平成25年度に輸血用血液製剤の納品実績があった医療機関(219医療機関)で全製剤の総納品単位数上位100医療機関(全納品単位数の98.8%)

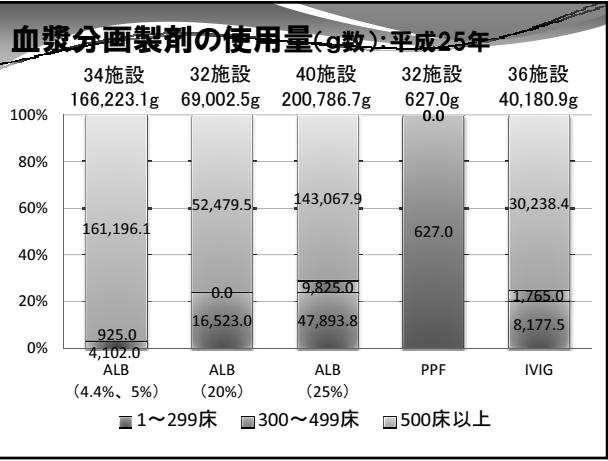
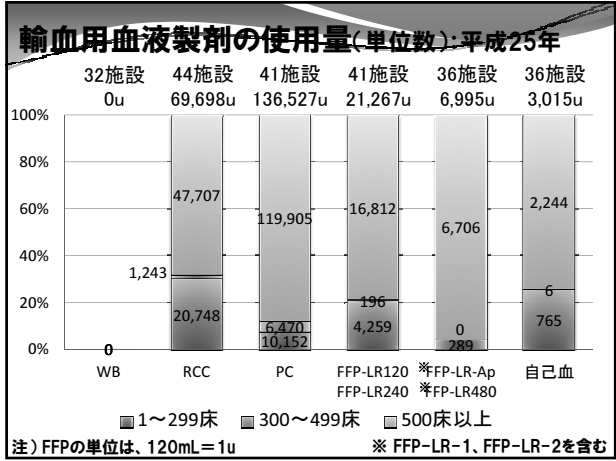
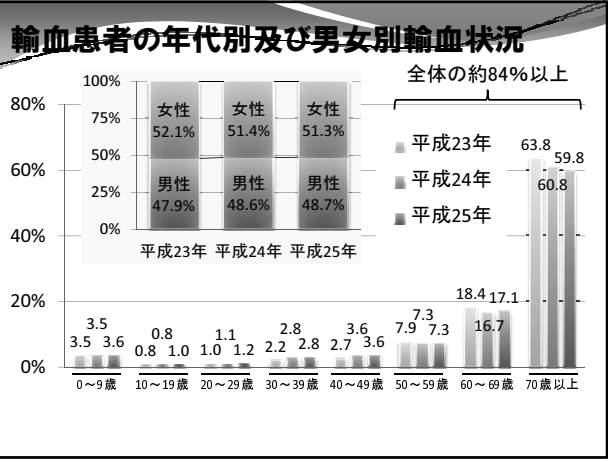
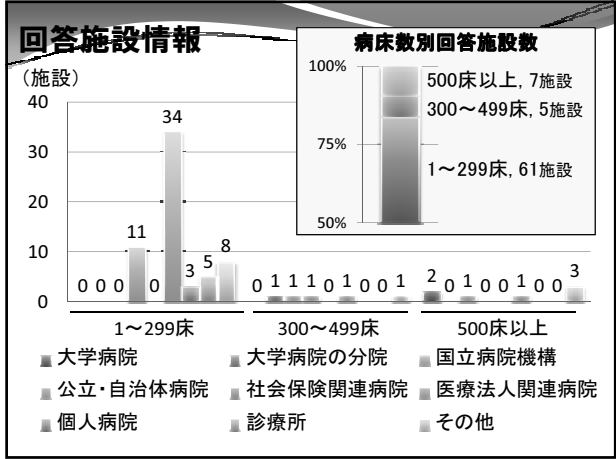
〈対象期間〉
平成25年1月1日～平成25年12月31日
(日本輸血・細胞治療学会のアンケートと合わせて暦年とした。)

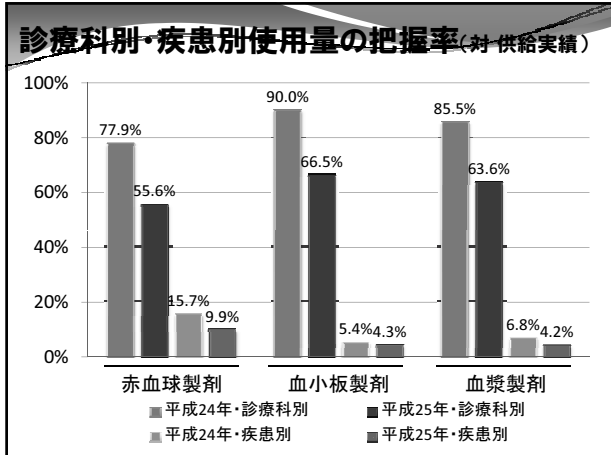
〈調査方法〉
対象施設に対してアンケート用紙を郵送

アンケート調査回収結果

調査年	平成25年	平成24年	(参考)平成23年※
調査依頼施設数	100	100	243
回答施設数	73	66	100
回答率	73%	66%	41%

※平成23年の調査は、平成22年度及び平成23年度に輸血用血液製剤(血漿分画製剤を含む)の納品実績があった全医療機関(243施設)を対象に実施





- ### 【まとめ】
- アンケートの回答率は73%となり、昨年実施した同調査(回答率66%)を上回った。
 - 平成23～25年では、年代別の輸血患者割合が50歳以上で多く(約84%以上)、男女別でほとんど差がなかった。
 - 各輸血用血液製剤、血漿分画製剤の使用量については、一部の血漿分画製剤を除き、500床以上の施設で多くが占められていた。
 - 診療科別の輸血用血液製剤の使用量に関する把握率(供給実績に対する割合)は約56～67%であったが、疾患別ではほとんど把握できていない(約4～10%)という状況であった。また、昨年の同調査と比較すると両項目とも全製剤で把握率が下がっていた。

岡山県血液製剤使用適正化普及委員会の活動状況について

岡山県血液製剤使用適正化普及委員会

1 事業目的

我が国の医療に使用されている血液製剤のうち全血製剤、血液成分製剤は全て国民の善意による献血で確保されているが、血漿分画製剤については、外国からの輸入に依存している状況にある。

また、わが国の血液製剤の使用量は諸外国に比べ圧倒的に多いという現状に鑑み、血液製剤使用の適正化が推進されている。

そのため、本県においても、平成4年1月10日に「血液製剤使用適正化普及委員会」を設置（国からの委託事業（平成15年度まで））し、医師等の医療従事者に対する説明会を実施するとともに、個々の医療機関に協力を要請するなど、血液製剤使用適正化のより一層の推進を図っている。

2 実施事業

年度	実 施 事 業
4	・医療機関別輸血状況調査 ・血液製剤使用適正化ガイドライン説明会
5	・「岡山県における輸血療法マニュアル」の作成 ・医療関係者への説明会
6	・県下医療機関における血液製剤の保管管理実態調査 ・医療関係者への調査結果報告及び説明会
7	・血液製剤適正管理普及啓発用ポスターの作成 ・医療関係者への説明会
8	・県下医療機関における輸血検査の実施状況調査 ・血液製剤適正管理普及啓発用ステッカーの作成 ・医療関係者への調査結果報告及び説明会
9	・県下医療機関における血小板製剤・新鮮凍結血漿の使用実態調査 ・医療関係者への調査結果報告及び説明会
10	・県下医療機関におけるアルブミン製剤・赤血球製剤の使用実態調査 ・医療関係者への調査結果報告及び説明会
11	・血液製剤使用適正化ガイドライン説明会
12	・血液製剤使用量の多い病院に対して個別説明会（2病院） ・血液製剤使用適正化指針説明会

年度	実 施 事 業
1 3	<ul style="list-style-type: none"> ・血液製剤使用量の多い病院に対して個別説明会（4病院） ・医療関係者への個別説明会実施報告及び説明会
1 4	<ul style="list-style-type: none"> ・血液製剤使用量の多い病院に対して個別説明会（3病院） ・医療関係者への個別説明会実施報告及び説明会
1 5	<ul style="list-style-type: none"> ・血液製剤使用量の多い病院に対して個別説明会（3病院） ・自己血輸血アンケート調査 ・医療関係者への個別説明会実施報告、アンケート調査結果報告及び説明会
1 6	<ul style="list-style-type: none"> ・血液製剤使用量の多い病院に対して個別説明会（3病院） ・医療関係者への個別説明会実施報告、国通知「血液製剤の平均的使用量について」等説明及び説明会
1 7	<ul style="list-style-type: none"> ・血液製剤使用量の多い病院に対して個別説明会（1病院） ・血液製剤使用量の多い病院の輸血療法委員会関係者に対する説明会 ・医療関係者への個別説明会実施報告、「輸血療法の実施に関する指針」及び「血液製剤の使用指針」の改定について等説明及び説明会
1 8	<ul style="list-style-type: none"> ・血液製剤使用適正化真庭地域説明会 ・血液製剤使用量の多い病院の輸血療法委員会関係者に対する説明会 ・医療関係者への個別説明会実施報告及び説明会
1 9	<ul style="list-style-type: none"> ・血液製剤使用適正化新見地域説明会 ・血液製剤使用適正化高梁地域説明会 ・血液製剤使用量の多い病院の輸血療法委員会関係者に対する説明会
2 0	<ul style="list-style-type: none"> ・抗赤血球抗体保有患者に対する輸血の追跡調査の実施
2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・抗赤血球抗体保有患者に対する輸血の追跡調査の継続 ・輸血業務・使用量等アンケートの実施
2 2	<ul style="list-style-type: none"> ・輸血業務・使用量等アンケートの公表及び報告書の作成
2 3	<ul style="list-style-type: none"> ・輸血業務・使用量等アンケートの報告書作成及び関係機関への配付
2 4	<ul style="list-style-type: none"> ・「岡山県内における血液製剤の使用実態調査アンケート」の実施
2 5	<ul style="list-style-type: none"> ・「岡山県内における血液製剤の使用実態調査アンケート」の実施

3 平成26年度実施事業

(1) 「岡山県内における血液製剤の使用実態調査アンケート」の実施

(2) 合同輸血療法委員会の開催

血液製剤の使用適正化の効果的な推進に向けて、血液製剤使用量が多い医療機関（個別説明会を開催した病院）から1病院あたり2～3名の輸血療法委員会関係者（医療機関の輸血責任医師、担当の臨床検査技師、薬剤師、輸血療法委員会委員長、管理者）等が参加する合同輸血療法委員会を開催。

（平成24年度から組織化。事務局：岡山県赤十字血液センター）

①日 時：平成26年7月30日（火） 15：00～17：00

②会 場：メルパルク岡山

③内 容： (1)血液製剤の使用状況と最近の血液事業の動きについて
(2)輸血業務・使用量等のアンケートについて
(3)ディスカッション

座長 上田岡山県血液製剤使用適正化普及委員会前副会長

④参加者：22病院 37名 他 計50名

(3) 第25回岡山県輸血研究会

主催 岡山県輸血研究会

共催 岡山県血液製剤使用適正化普及委員会、岡山県合同輸血療法研究会

①日 時：平成27年2月28日（土） 14：00～18：00

②会 場：オルガビル・オルガホール

③内 容：活動報告

講演

- 1 緊急時の自己抗体陽性者に対する輸血とフォローアップについて
- 2 輸血・細胞治療学会認定臨床輸血看護師の役割と活動
- 3 異型適合血輸血実施時における輸血部門の役割